



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年7月6日朝刊西部版

メロン栽培 マニュアル化



データ収集用の栽培ベッドの状況を確認する生産者
＝6月上旬、森町飯田

袋井市の特産クラウンメロンの生産者として、県温室農業協同組合クラウンメロン支所は本年、栽培技術のマニュアル化に乗り出した。生産者数の減少に歯止めがかからない中、専門的な技術や経験が必要なメロン栽培を簡素化することで間口を広げ、就農者の確保につなげる。5年を目途に安定的な生産体制を構築し、将来の栽培自動化を視野に入れる。5日までの関係者への取材で分かった。
＝関連記事19面へ

県温室農協(袋井) 専門技術継承へ

就農者確保 自動化も視野

森町飯田のガラス温室の一角にデータ収集用の栽培ベッドを設置。土壌に含まれる水の量や気温、湿度などを計測し、必要な水分量を分析している。支所は本年、組合所属の4軒で同様の試みをスタートした。1年かけて集積した情報を基に実証試験に取り組み。マニュアル化を実現する上で最大の課題は灌水管理という。生育状況や気候に左右され従来は生産者の長年の経験や感覚に依存していた。職人技の側面が色濃く、継承が困難という。実証実験で適切な水の量を割り出し、経験に頼らなくても一定以上の品質のメロンを生産できるノウハウの確立を目指す。支所によると、組合員の平均年齢は63歳で、10年前から約8歳も上昇している。少な

くとも30年間は既存の組合員の後継者を除く新規就農者がなく、組合員数は最盛期の850人から231人まで落ち込んだ。作業の省力化で、高齢を理由に離農する生産者の引き留めを図る。また、同市や近隣市町には温室メロンの栽培をやめた空き温室が多数存在する。それらを活用することで地域産業の活性化を狙う。
(袋井支局・仲瀬駿介)

①袋井市特産のメロンを何と言いますか。

()

②メロン栽培技術のマニュアル化を行う目的は何ですか。記事のリード文から関係する部分を探して、線を引きましょう。

③メロン栽培技術のマニュアル化を行う上での最大の課題は何ですか。()

④将来は、メロン栽培をどのように行うことを目指していますか。

()

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／社会、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年7月6日朝刊西部版

メロン栽培 マニュアル化



データ収集用の栽培ベッドの状況を確認する生産者
＝6月上旬、森町飯田

袋井市の特産クラウンメロンの生産者として、県温室農業協同組合クラウンメロン支所は本年、栽培技術のマニュアル化に乗り出した。生産者数の減少に歯止めがかからない中、専門的な技術や経験が必要なメロン栽培を簡素化することで間口を広げ、就農者の確保につなげる。5年を目途に安定的な生産体制を構築し、将来の栽培自動化を視野に入れる。5日までの関係者への取材で分かった。
＝関連記事19面へ

県温室農協(袋井) 専門技術継承へ

就農者確保 自動化も視野

森町飯田のガラス温室の一角にデータ収集用の栽培ベッドを設置。土壌に含まれる水の量や気温、湿度などを計測し、必要な水分量を分析している。支所は本年、組合所属の4軒で同様の試みをスタートした。1年かけて集積した情報を基に実証試験に取り組み。マニュアル化を実現する上で最大の課題は灌水管理という。生育状況や気候に左右され従来は生産者の長年の経験や感覚に依存していた。職人技の側面が色濃く、継承が困難という。実証実験で適切な水の量を割り出し、経験に頼らなくても一定以上の品質のメロンを生産できるノウハウの確立を目指す。支所によると、組合員の平均年齢は63歳で、10年前から約8歳も上昇している。少な

くとも30年間は既存の組合員の後継者を除く新規就農者がなく、組合員数は最盛期の850人から231人まで落ち込んだ。作業の省力化で、高齢を理由に離農する生産者の引き留めを図る。また、同市や近隣市町には温室メロンの栽培をやめた空き温室が多数存在する。それらを活用することで地域産業の活性化を狙う。
(袋井支局・仲瀬駿介)

①袋井市特産のメロンを何と言いますか。

(**クラウンメロン**)

②メロン栽培技術のマニュアル化を行う目的は何ですか。記事のリード文から関係する部分を探して、線を引きましょう。

③メロン栽培技術のマニュアル化を行う上での最大の課題は何ですか。(**灌水管理**)

④将来は、メロン栽培をどのように行うことを目指していますか。

(**(5年を目途に安定的な生産体制を構築し、)将来の栽培自動化を視野に入れている。**)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校/社会、総合)